



# みなかぜ通信

vol.15 春号 H28.4.20 発行



## 巻頭言

### 「医療チーム」

看護部長 村田 哲雄

「新」医療チーム・元年を目標に昨年からスタートしました。医療チームとは、医療に携わる多種多様な専門職がそれぞれの高い専門性を発揮し、目的と情報を共有することで、的確なケアを提供することを言います。チーム医療では、それぞれの職種の仕事内容や責任の範囲、職種間の関わり方などを明確にし、対等な立場で意見を交換し合い、役割分担することが重要です。



チーム医療では、患者さんとその家族が主役であり、医療スタッフは脇役として支援することで、より質の高いケアの提供が可能となります。

みなかぜ病院では、患者さんとその家族のキーパーソンとなり代弁者として、他職種と患者さんの隙間を埋める役割ができるチーム作りを職員一丸となって行っています。



医療法人せいわ会 **みなかぜ病院**

発行責任者 院長 堤 啓

〒819-1129 福岡県糸島市篠原西 1-14-1

TEL 092-322-3261 URL <http://www.minakaze.jp/>

#### 【病院理念】

快適な医療環境と患者本位の医療サービスを提供します。

#### 【基本方針】

- 患者とご家族の皆様が安心できる医療環境づくりに努めます。
- 地域と連携し、社会貢献に努めます。
- 患者の社会復帰と自立に向けた支援に努めます。
- 医療従事者として自己研鑽に努めます。
- 安定した病院経営基盤の確保に努めます。



日本医療機能評価機構  
認定第 JC1945 号

# 素敵な歌声が響く！！～『カラオケのど自慢大会』開催～

3月17日に『カラオケのど自慢大会』を開催しました。

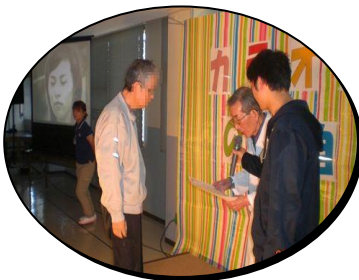


デイケア、各病棟より3名ずつ出場し全15名で“競い合う”と言うより歌が好きな人が集まり皆の前で歌を披露するような温かい大会です。

今年も力強い歌や、心に染みる歌、個性豊かな歌に皆ため息をついたり、拍手を送っていました。応援の方もプラカードを振ったり、色々と工夫を凝らし出場者の気持ちを盛り上げていました。皆さん歌う事を楽しみにされていて、出場できなかった事を残念がられてました。来年も新メンバーでどんな歌を披露されるのか今から楽しみです。



最優秀歌唱賞



特別賞



特別賞



優秀歌唱賞



優秀歌唱賞



2病棟 飯田一広



# ～院内研修会を行いました～

3月29日、院内研修が行われました。テーマは「精神疾患に対する理解と対応～統合失調症を中心に～」で、講師は堤診療部長。統合失調症は人口の約1%が罹患する病気ですが、その発症によって、本人の社会生活、人生経験など様々な制約を負うこととなります。10代で発症した場合は、一度も社会で働いたことも、結婚、育児をしたことも、家事能力も十分に身に付けられないまま病気と向き合わざるを得ない人がいます。しかし、適切な治療やリハビリテーション、周囲のサポートにより、本人の能力を生かし、社会で活躍する場を設けることも出来ます。実際に、有名な画家や学者として活躍した人もいます。私たちは、病気を抱えた人々を、「病人」としてではなく、課題を抱えた「生活人」として、接することの大切さを学んだ研修会でした。



※堤診療部長です。



教育委員会 篠原雅子

## 特集!!



## 紫外線対策



肌の日焼けは皆さん知っていますが実は目も日焼けしますので、肌のケアだけでは効果は半減です。7cm以上のツバのついた帽子では50%、これにサングラスをかけると90%まで紫外線をカットできます。ぜひ目の紫外線対策も心掛けましょう



担当：吉田千枝

院内感染対策委員会は 15 名の構成員で活動しています。月 1 回の定例会議、年 2 回の院内研修会が主ですが、院内で発生した感染症に対しては、アウトブレイクしない様に随時対応、対策を講じ、迅速に対処するよう心掛けています。今年も院内でインフルエンザが発生した際に“①情報共有②院内での一貫した行動と迅速な対応③予防の励行”を職員が周知していたことから、拡大を防げたと感じています。昨今、以前の日本ではありえない多種多様の感染症が私達を脅かしています。皆さんも身近に危機感を感じていることでしょう。

しかし、安易に怖がってばかりではいけません。正しい予防法や対策を情報収集し皆で共有することが大切です。私達、感染対策委員もいち早く情報を得ることで皆さんの健康及び病院の健康を守っていきたいと思っています。



院内感染対策委員会 二本木智子

## 職員紹介リレー

# ハイタッチ!!



氏名：川上 清美

部署：1 病棟

趣味：マンドリン

一言：入職して 1 年経ちました。緊張しすぎず真面目に努力していきたいです

## 編集後記

桜も散り、春本番から少しづつ初夏の陽気を感じます。暖かい日差しに誘われて、この季節はお出掛けしたくなりますね。4月は1年の中で一番体調を壊しやすい時期と言われています。いつも以上に体調管理をしっかり行い、五月病を予防しましょう